

## 宇津夏祭り納涼の集い 活動報告

2018年8月14日～16日

報告者：寺田玲（人文学部・1年生）

今回の活動は夏祭りの設営準備や撤収の手伝い、夏祭り屋台の出店を行いました。まず14日には屋台で出すパエリア、水飴などの試食を行いました。試食ではどれも宝探し会のメンバーに好評で、そのまま明日屋台に出すための仕込みをしました。

16日の祭り本番、立命館宇治高校の生徒たち6人も宝さがし会の活動に合流してくれました。朝の9時から夏祭りの主催者である宇津自治会の方とテントやステージ、その他資材の運搬の手伝いをしました。しかし資材を運び終えると同時に、弱いながらも雨が降り出しました。

お昼の休憩中に相談をした結果、雨天決行が決まり、昼過ぎからテントやステージの設営を行いました。地元自治会の方に指示を仰ぎながらも自分たちも考え、できる限りの手伝いを行いました。



設営終了後は自分たちの屋台の準備を始めます、前の晩に仕込みをしていたので順調に進み、余裕を持って夏祭り本番へ向かうことが出来ました。



午後 5 時から祭りの本番です。宇津宝さがし会が出した屋台は、焼きそば、パエリア、水飴、ヨーヨー釣り、フェアトレード物販（大学の授業の一環で行ったフェアトレードカフェの延長）です。舞台の出し物の1つとして、京都精華大学フラメンコ同好会もパフォーマンスを披露しました。



どの屋台も祭り中に客足が途絶えることはなく、焼きそばやパエリアは大盛況でした。夏祭りの最後には毎回恒例の花火の打ち上げ、とても近くで上がるので大きな音と、すぐ近くで広がる花火に心打たれました。雨のために残念ながら盆踊りは中止になりましたが、地域の小学生たちが櫓の上で歌うはずだった丹波音頭は、舞台上で披露されて大きな拍手をあげていました。



楽しい夏祭りの後には撤収作業です。夜遅くまで自治会の方とともに、足場、骨組み、土嚢など様々な物をばらしてトラックへ積み込んでいきました。「お疲れ様」「よく働いてくれました」「助かりました」などなどの声を掛けていただき、やりがいや、心地よい疲

労感を感じました。

16日はメンバーで泊まっていた施設や、ミーティングや仕込みなどに使っていた施設の片付けと、以前から行ってきた宇津の古い写真の整理を行い、昼過ぎに解散となりました。

#### まとめ

地元自治会の方々の熱意や、作業をしてねぎらってもらううれしさなどを知ることが出来ました、また写真整理の作業も日進月歩ながら進むことが出来て、確かな手応えを感じつつあります。これからも宇津の方々と二人三脚で頑張りつつ、学生という短い期間をより充実させてゆきたいと思います。